
魔法少女リリカルなのは 無限の英知の一存

正義

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは 無限の英知の一存

【Nコード】

N0715Z

【作者名】

正義

【あらすじ】

これは時空管理局最高評議会により生み出されたもう1人の異端児『無限の英知』の物語。

『闇の書事件』から五年、『高町なのは撃墜事件』から三年。ユーノ・スクライアはある任務の途上で、特殊な力と能力に目覚める。しかし、そのことがきっかけで管理局の暗部に命を狙われることになってしまう。そんな彼を救ったのは、碧陽帝国永久名誉元師兼帝徒会副会長杉崎鍵だった。

存在しえない記憶（前書き）

やり直し投稿第一弾です

存在しえない記憶

ユーノ視点

……あれ？ここは何処だろう？

気付いたら、僕は見知らぬ場所に佇んでいた。

周りを見渡す。たくさんの機材や薬品等があるところを見ると、何処かの研究所みたいだけど………明らかにマトモな所じゃない。まずカプセルの中に入っていたのは、人間だった

それも両足が無かったり頭部が半分以上存在せずに脳みそと思われるものまであった。

ここは、違法研究所か。

暫く内部をさ迷っていると、僕はそこで他よりも一際大きなカプセルの中に佇む男の子とその周りを取り囲んでいる研究者達を発見。

………僕はその中の1人、白衣を着た金髪の女性から、目が離せなかった。

……あれ？何だろう、この感覚。ひどく懐かしい気がする。それは長年行方不明だった母親と再会した時のような。

何故こんな感覚を覚えるのか、自分自身でも困惑してしまう中、金髪の女性と研究者達との会話が聞こえてくる。

この子が、新しいプロジェクトA・C・なの？

はい。コードネーム『無限の英知』です。

そう。……名前は？

いえ。まだ決まっていません。

そう。……私が付けてもいいかしら？

？構いませんが。

じゃあ、この子の名は……

金髪の女性は、他の研究者達とは違う慈愛を込めた表情でカプセルの男の子を見つめ、その名を口にした。

×××よ。

存在しえない記憶（後書き）

感想宜しく御願います

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0715z/>

魔法少女リリカルなのは 無限の英知の一存

2011年12月15日01時48分発行